解剖学(はき国家試験)消化器(口腔・食道・胃・小腸)

2021年 月 日

回数	問題番号	問題文	選択枝 1	選択枝 2	選択枝 3	選択枝 4
5	21	導管が口腔前庭に開口するのはどれか。	耳下腺	舌下腺	舌腺	顎下腺
11	22	舌について誤っている記述はどれか。	糸状乳頭の上皮は角化する。	舌根は咽頭の前壁の一部である。	内舌筋の支配神経は舌咽神経である。	舌扁桃は分界溝より後方にある。
12	22	口腔内器官で誤っている記述はどれか。	顎下腺管は口腔前庭に開口する。	口腔粘膜上皮は重層扁平上皮である。	小臼歯は乳臼歯に代わって生える。	舌扁桃は分界溝の後方にある。
14	21	舌の分界溝の前に一列に並ぶのはどれか。	糸状乳頭	茸状乳頭	有郭乳頭	葉状乳頭
16	22	唾液腺について誤っている記述はどれか。	耳下腺は顔面神経に貫かれる。	耳下腺管は口腔前庭に開口する。	舌下腺管は口腔底に開口する。	顎下腺の分泌には舌咽神経が関与する。
26	21	固有口腔に存在するのはどれか。	口唇	耳下腺	歯肉	舌骨
28	21	舌の分界溝前に一列に並ぶのはどれか。	糸状乳頭	茸状乳頭	有郭乳頭	葉状乳頭
27	22	食道について正しいのはどれか。	第3頸椎の高さで始まる。	気管分岐部の高さで狭窄している。	気管の前を通る。	成人では長さ約15cmである。
4	22	胃について正しい記述はどれか。	胃体の上方への膨大部を胃底という	大弯から小網が垂れ下がる	噴門には発達した弁がある	胃体部粘膜には輪状ヒダがある
14	22	胃について正しい記述はどれか。	ガストリン分泌細胞は噴門に分布する	角切痕は小弯の一部にみられる	胃底の主細胞は塩酸を分泌する	幽門は第11胸椎の高さにある
1	21	パイエル板(集合リンパ小節)があるのはどれか。	胃	十二指腸	回腸	虫垂
3	20	小腸について正しい記述はどれか。	十二指腸の長さは約12cmである。	総胆管が空腸に開口する。	集合リンパ節(パイエル板)は回腸下部に多い。	虫垂は小腸に属する。
6	20	腸管とその構造との組合せで正しいのはどれか。	十二指腸——腸間膜	空腸——腸腺	回腸——腹膜垂	横行結腸——腸絨毛
8	22	小腸にみられないのはどれか。	腸絨毛	腹膜垂	孤立リンパ小節	輪状ヒダ
10	23	十二指腸について誤っているのはどれか。	臍頭をC字状に囲む。	回腸に移行する。	下行部に総胆管が開く。	腹膜後器官である。
13	20	小腸について誤っている記述はどれか。	空腸は腸間膜をもつ。	粘膜に半月ヒダがある。	腸腺は絨毛の根元に開口する。	二層の筋層からなる。
24	24	小腸について正しいのはどれか。	粘膜上皮は多列円柱上皮である。	粘膜固有層にパイエル板がある。	全長にわたって腸間膜がある。	表面に腹膜垂がある
29	20	小腸について正しいのはどれか。	上皮は内胚葉から分化する。	半月ヒダがある。	十二指腸空腸曲は腰椎の右にある。	回腸には腸間膜がない。

答

解剖学(はき国家試験)消化器(大腸・肝胆膵・腹膜)

2021年 月 日

回数	問題番号	問題文	選択枝1	選択枝2	選択枝3	選択枝4
7	22	虫垂について正しい記述はどれか。	リンパ小節が多い。	腸絨毛が発達している。	筋層を有しない。	腸腺を有しない。
9	26	大腸について正しい記述はどれか。	小腸と同じ長さである。	輪状ヒダがある。	直腸は腸間膜をもつ。	盲腸から虫垂が突出する。
10	22	正しい記述はどれか。	大腸には内腔に輪状ヒダがある。	腹膜垂は小腸にみられる。	門脈は肝門に入る。	胃の角切痕は大弯にある。
19	22	消化管で腹膜垂がみられるのはどれか。	十二指腸	回腸	横行結腸	直腸
23	22	上行結腸について正しいのはどれか。	肝臓の方形葉下面に接する。	脾臓に接する。	右結腸動脈が分布する。	輪状ヒダを持つ。
1	20	正しいのはどれか。	胆汁は胆嚢で産生される。	グリソン鞘には動脈・静脈・胆管の三つ組がみられる。	膵管は胆管と合流し大十二指腸乳頭に開口する。	肝静脈は上大静脈に開口する。
3	21	肝臓について正しい記述はどれか。	全面を腹膜で包まれる。	右葉と左葉とは同じ大きさである。	栄養血管は門脈である。	肝静脈は直接下大静脈に注ぐ。
4	23	肝臓の血管系について正しい記述はどれか。	門脈には動脈血が流れる	洞様毛細血管(類洞)は中心静脈に注ぐ	中心静脈は小葉間静脈に注ぐ	肝静脈は肝門を通る
6	21	胆汁の流路で誤っている記述はどれか。	肝管は肝門を通る。	肝管と胆嚢管とが合流して総胆管となる。	総胆管は胃の前を通る。	総胆管は十二指腸に開口する。
12	23	胆汁の流れが一方向でないのはどれか。	小葉間胆管	肝管	胆嚢管	総胆管
16	21	肝臓について正しい記述はどれか。	肝静脈は肝門から出る。	肝鎌状間膜は方形葉の右側に位置する。	胎生期の静脈管は臍静脈血を下大静脈に導く。	中心静脈は小葉間静脈へ注ぐ。
21	23	ディッセ腔にみられるのはどれか。	クッパー星細胞	ビタミンA貯蔵細胞	赤血球	胆汁
27	23	肝臓について正しいのはどれか。	実質はグリソン鞘により肝小葉に分けられる。	肝鎌状間膜は方形葉と尾状葉の間にある。	右葉よりも左葉の方が大きい。	肝静脈は肝門を通る。
7	23	膵臓について誤っている記述はどれか。	膵管は十二指腸に開口する。	膵臓全体が腹膜に覆われる。	外分泌部は消化酵素を分泌する。	膵島はホルモンを分泌する。
13	21	膵臓について正しい記述はどれか。	後腹膜器官である。	膵尾は十二指腸に付着する。	肝臓の下面に隣接する。	膵管は幽門に開口する。
15	21	膵臓について誤っている記述はどれか。	内分泌腺の膵島は頭部に多い	腹膜後器官である	脾動脈の枝が分布する	膵管は膵臓の中を通る
20	23	膵臓について正しい記述はどれか。	第4・第5腰椎の高さにある。	後腹壁に付着している。	左端は十二指腸に接している。	膵液はランゲルハンス島から分泌される。
2	21	間膜を持たない消化器はどれか。	空腸	直腸	胃	肝臓
21	22	間膜と付着部との組合わせで正しいのはどれか。	肝冠状間膜 — 横隔膜	小網 — 脾臓	大網 — 空腸	腸間膜 — 腎臓
22	15	腹膜を形成する上皮で正しいのはどれか。	移行上皮	円柱上皮	線毛上皮	扁平上皮

答